

世界のメープルシロップの約7割を担うカナダ・ケベック州 2026年生産量10万トン超の豊作、35年間で販売量約4倍へ 技術革新で1タップ当たりの採取量も約2倍に増加

世界のメープルシロップの約7割を生産するケベック・メープルシロップ生産者協会（QMSP 所在地：カナダケベック州 会長：Luc Goulet リュック・ゴーレ）は、2026年のケベック州におけるメープルシロップ生産量が、2億2,950万ポンド（104,099トン）に達したことを発表しました。

ケベック州は、世界のメープルシロップ生産量の平均72%を占める世界最大の産地です。現在、ケベック州産メープルシロップは70カ国以上へ輸出されており、2025年の販売量は2億200万ポンド（91,626トン）を超え、うち輸出量は1億8,130万ポンド（82,236トン）に達しました。輸出されたメープル製品の総額は8億4,400万カナダドル（962億1,600万円）に相当します。

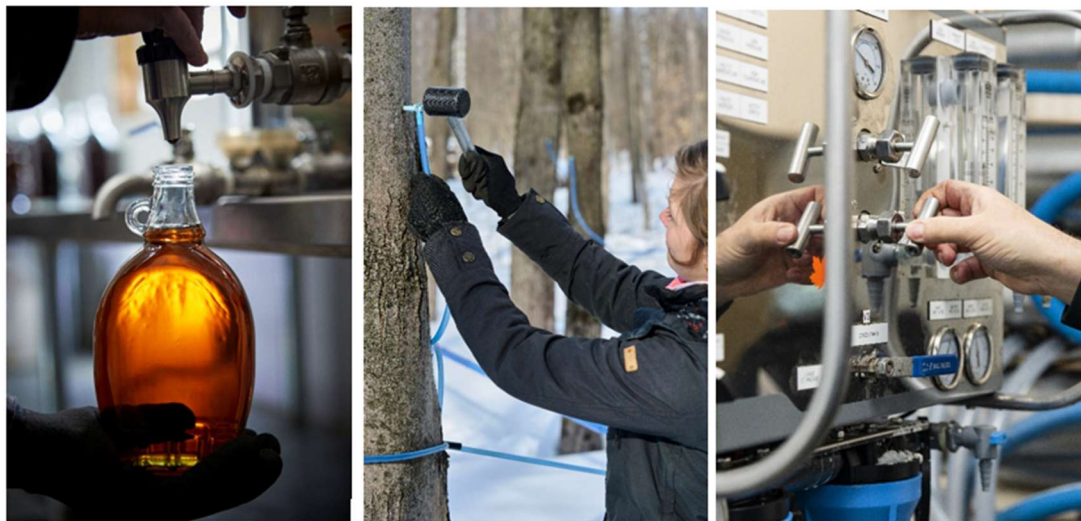
また、財務省「貿易統計」によると、2025年度全期（4月～3月）に日本がカナダから輸入したメープルシュガーおよびメープルシロップは256万9,926キログラム（約2,569トン）、輸入額は35億2,059万4千円でした。

※1財務省「貿易統計」2025年（品目：メープルシュガー及びメープルシロップ）

世界的にメープル製品への需要が拡大するなか、ケベック州のメープルシロップ産業は、この35年間で大きく成長しています。年間販売量は約4倍に拡大、さらに、生産技術の進歩によって、カエデの樹液を採取するタップ（採取口）1口当たりの収量も、2004年の2.3ポンド（約1キログラム）から、現在では4ポンド（約1.8キログラム）超へと大幅に向上しています。

※2カナダドル=114円として換算

詳細URL：<https://maplefromcanada.jp/d/news>



技術革新で1タップの採取量が増加、またより高い品質のメープルシロップ生産へ

【35年間で販売量約4倍——世界需要とともに成長】

ケベック州のメープルシロップ産業では、生産者が共同で産業の発展に取り組む「共同計画（Joint

Plan)」のもと、生産・販売体制の整備や品質向上、市場開拓を進めてきました。

この35年間で、年間販売量は5,290万ポンド（23,995トン）から2億200万ポンド（91,626トン）超へと約4倍に増加しました。

メープルシロップは、パンケーキやワッフルにかける甘味料としてだけでなく、塩味、酸味、苦味、辛味など、さまざまな味と調和し、料理の風味を引き立てる調味料としても活用されています。2024年にはNHK「あしたが変わるトリセツショー」でも、その多彩な風味と料理への活用方法が紹介されました。

※3NHK「あしたが変わるトリセツショー『メープルシロップの取説!? 食卓激変の驚異の力』」（2024年1月11日初回放送）

こうした用途の広がり背景に、ケベック州産メープルシロップの2025年の輸出量は1億8,130万ポンド（82,236トン）に達しました。世界の食卓を支える産地として、ケベック州の役割は一段と大きくなっています。

【技術革新で、1タップ当たりの採取量も約2倍に】

長期的な成長を支えているのは、タップ数の増加だけではありません。樹液の採取・管理技術や生産設備の進歩によって、1タップ当たりの採取量も大きく向上しています。

その収量は、2004年の2.3ポンド（約1キログラム）から、現在では4ポンド（約1.8キログラム）超へと増加。約20年間で、およそ2倍の水準となりました。

カエデの木や森林の状態を適切に管理しながら、生産効率と品質を高めてきた生産者の取り組みが、世界市場への安定供給を支えています。

【700万の新規タップ——将来の供給力をさらに拡大】

拡大する世界需要に応えるため、QMSPは昨年、新たに700万タップを追加する計画を発表しました。

このうち、私有地には490万タップが割り当てられ、611の新規事業が誕生するとともに、1,329の既存事業が生産規模を拡大しました。さらに2026年からは、公有林に210万タップを設置する計画です。これらの取り組みにより、ケベック州の生産基盤を一層強化し、将来にわたって世界市場へメープルシロップを安定的に供給できる体制を整えていきます。

【持続可能な森とともに——次世代へつなぐメープル産業】

メープルシロップは、カエデの木を伐採することなく、毎年春に採取される樹液から作られます。その生産を将来にわたって続けるためには、カエデの森を健全な状態に保ち、森林資源を次世代へ引き継ぐことが欠かせません。

QMSPは、ケベック州政府との合意に基づき、今後20年をかけて5万ヘクタールの公有地に、将来の需要に備えたメープル樹林を整備する計画も進めています。

生産性の向上と供給力の拡大、そして森林資源の持続可能な活用。この3つを柱として、ケベック州のメープルシロップ産業は、世界需要に応える長期的な成長を目指しています。



メープル生産者は森の守護者、森林資源を次世代に繋ぐ

【「Maple from Canada」ブランドー日本の食卓にも広がるメープルの魅力】

ケベック・メープルシロップ生産者協会（QMSP）は、ケベック州全域で合計5,550万タップを運営する8,400以上のメープル関連事業者を代表し、「Maple from Canada」ブランドのもと、70カ国以上へ品質と誇りを届けています。

パンケーキやワッフルだけでなく、和食やスイーツ、ドリンクにも幅広く活用されているメープルシロップ。気候変動や供給不安のなかでも、その魅力を途切れさせないための取り組みを、今日も着々と進めています。

ケベック・メープルシロップ生産者協会

<https://maplefromcanada.jp/>

本件に関する取材・撮影・インタビューを歓迎しております。

担当者への取材調整や追加素材の提供も可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

この件に関するお問い合わせ先：

ケベック・メープルシロップ生産者協会

日本広報窓口：Tam Dang（タム・ダン）

E-mail： tam.dang@relativ.com

広報・メディア対応：井上知子

E-mail： inoue@officet.jp

Mobile：090-7815-0353